

# 平栗いこいの森 散策ガイド



カタクリとギフチョウ



金沢市

## 平栗いこいの森(平栗自然環境保全区域)

里山の雪が消える4月上旬、スミレ類やカタクリの花が咲き始めると、平栗地区はギフチョウが舞う一年で最も美しい季節を迎えます。

金沢市内にはギフチョウの生息地は他にもありますが、ここはギフチョウの多産地として全国に知られており、学術的にも貴重な地区です。

また、草木生い茂る夏にはコナラ林を抜ける遊歩道に美しい緑のトンネルを造りだし、木の葉舞い散る秋にはバードウォッチングに絶好のフィールドを提供してくれます。一角にはほのぼのとした里山風景が望める木道も整備されており、ゆっくりと散策を楽しむことができます。

この森は、森林法に基づく保健保安林に指定されており、森林レクリエーション等を通じて生活にゆとりを与える地域となっています。また、降った雨を蓄えたり徐々に流したりと河川の流量を調整する水源かん養保安林としても指定されています。



スミレサイシン

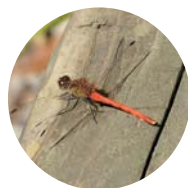


金沢市では、昭和63年4月からこの地域67ヘクタールを「平粟いこいの森」として整備を始め、平成6年3月には金沢市自然環境保全条例に基づく「平粟自然環境保全区域」に指定しました。



## 平粟で見られる動物たち

平粟地区は、大きく分けて、コナラ林、スギ林、竹林、そして水田およびその跡地で構成されており、周辺には多様な動物たちが生息しています。



アキアカネ

季節にもよりますが、林の中からニホンカモシカやホンDOIタチがひょっこり現れたり、水田などの水辺からはカエルの合唱が聞こえたり、少し視線を上げるとそこには赤トンボが飛んでいるなど、どこか懐かしい風景を楽しむことができます。



ニホンアカガエル



ニホンカナヘビ



ニホンカモシカ

# 春のはかなきもの

## ～Spring Ephemeral スプリング・エフェメラル～

…春のほんのひととき、命を輝かせ果ててしまうものをこのように呼んでいます。

ギフチョウもカタクリも春の短い期間に姿を現し、あっという間にその最盛期を終えてしまいます。

## 春の舞姫 ギフチョウ



ギフチョウとタチツボスミレ(S)

雪がとけスミレ類やカタクリが花を咲かせる頃、雑木林から可憐な美しいギフチョウが飛び立ちます。ギフチョウはアゲハチョウの仲間で、幼虫のエサとなるカンアオイ類の生育する、日が差し込む明



ヒメカンアオイに産まれた卵(M)

るい雑木林に生息しています。

金沢では平栗地区のように手入れされた竹林でもよく見られますが、これは全国でも珍しい例です。

近年では、雑木林の開発や針葉樹林の植林が進み、また、林の定期的な下草刈りや伐採による更新が行われなくなったため、ギフチョウの生育に適した環境が年々減少しています。特に太平洋側では生息数の減少が著しく、いなくなってしまった地域もあります。



## 早春の妖精 カタクリ

春、雪がとける頃、カタクリが地表から芽を出し、まるで少しいつむいているかのような美しい紅紫の花を咲かせます。

平栗の春を代表する植物ですが、木々の葉が開き始め林床に光が届かなくなる頃、花はその短い花期を終え、葉も枯れ始めます。根には来年のための栄養が蓄えられ、これはかつては片栗粉の原料とされていました。

種が地表にこぼれ落ち、花を咲かせるまでには7～8年も長い年月を必要とします。



ショウジョウバカマ



タチツボスミレ



ヒメカンアオイ

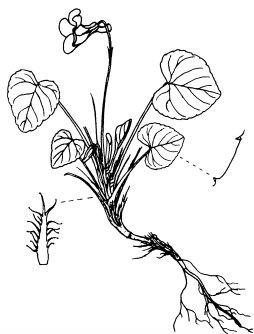
### 決して取らないでください！

ギフチョウやその吸蜜植物であるカタクリ、ショウジョウバカマ、スミレ類および幼虫の食草であるヒメカンアオイの採取は禁止されています。その他の動植物も持ち帰ることのないよう、お願いいたします。

～自然環境保全のルールをお守りください～

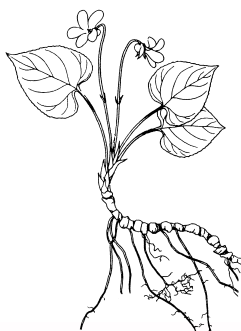
# 平栗で見られる春の花

## タチツボスミレ



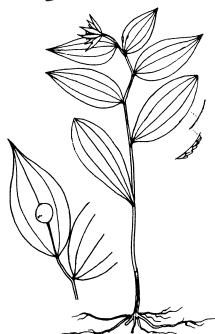
スミレ科。花は3～5月、淡紫色。陽あたりの良い所を好む、普通に見られるスミレ。花の茎は根元から直接出るものが多い。オオタチツボスミレも良く似ているが、茎が途中から分岐して、その茎にのみ花が咲く。

## スミレサイシン



スミレ科。花は3～5月、濃紫色。花は葉より先に咲く。スミレの中では花が大きい。本州の日本海側、北海道の西南部に多く見られる。

## チゴユリ



ユリ科。花は4～5月、白色で、茎の頂に普通1花つく。果実は黒色。やや明るい林内に好んで生える。

## シュンラン



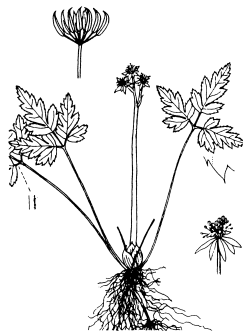
ラン科。花は3～4月、淡黄緑色で、花茎は葉より低く、1花を着ける。葉は常緑で硬く、2列に出る。山の林下に生える。

## キクザキイチリンソウ



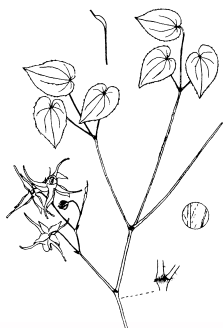
キンボウゲ科。花は3～4月、紫色で1個つく（白花の種もある）。総包葉は3枚で、3出状に分裂する。山の林下に生える。

## オウレン



キンボウゲ科。花は3～4月。雄花は白く、花びらの先がとがる。雌花は紫色をおびることがある。根茎は黄色で胃腸薬としても用いられ、葉は雪の下でも枯れない。本州の日本海側や北海道の西南部に多い。

## トキワイカリソウ



メギ科。花は4～5月、白色。花には長い距という付属物があり、イカリのように見える。葉は冬になっても紅葉して残る。北陸から山陰地方の日本海側に多い。

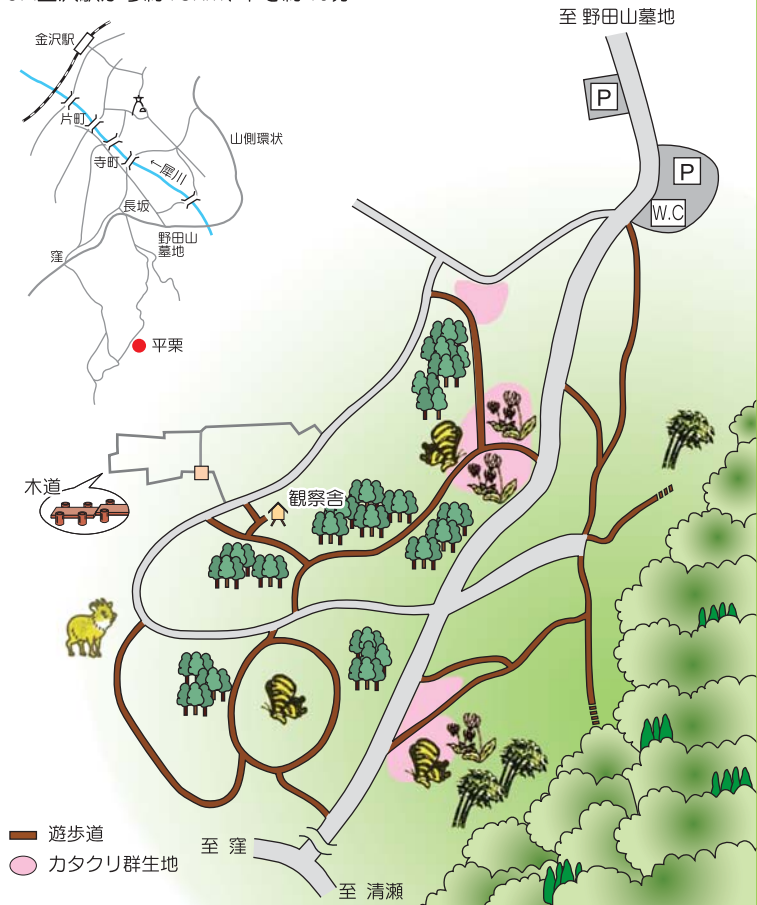
## キンキマメザクラ



バラ科。花は4～5月、淡紅色で、がくの筒部が細く長い。果実は紫黒色。

# 平栗いこいの森ガイドマップ

JR金沢駅から約13km、車で約40分



監 修：高木政喜

写真提供：嵯峨井淳郎(S)、松井正人(M)

植 物 画：小牧 旌『加賀能登の植物図譜』より許諾使用

発 行：金沢市環境政策課

発 行 日：平成22年3月